

授業科目名	子どもの健康と安全	教員名	花畑 明美	卒業及び 免許・資格 との関係	卒業	選択	
					小学校教諭	選択	
科目番号	TAI304	配当年次	3年後期		幼稚園教諭	選択	
					保育士	必修	
授業形態	演習				こども音楽療育士	選択	
					情報処理士		
単位数	1単位						
科目							
施行規則に 定める科目区分							
一般目標	子どもの育つ環境と健康・疾病の関係を理解し、子どもの保健と安全を確保する。 (テーマ) 子どもを理解し「生命と健康」を守る。						
到達目標							
ディプロマ・ポ リシーとの関係	本講義は、学科のディプロマポリシーに掲げる「6. 教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。						
授業の概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの健康及び安全にかかわる保健活動の計画及び評価について学ぶ。 2. 子どもの保健と環境、子どもの疾病と適切な対応について理解する。 3. 子どもに多い事故とその予防と対処、健康的な安全管理について学ぶ。 4. 心とからだの健康問題と地域保健活動の現状について習得する。 						
履修条件・ 注意事項	特になし						
授業計画	<p>第1回：本講義の目的・目標、講義概要（科目の意義、目標、授業の進め方、評価の方法）、子どもの保健で学んだ「保育の対象、子どもの保健」を確認、解説する。 ・授業を受ける学生の理解能力に配慮し、主体的に学ぶ授業づくりを展開。 (準備学習) ・受講者は保育士資格取得の理由と方向性を明確にして授業に臨むこと。</p> <p>第2回：子どもの発育・発達の評価では、保健計画の作成と活用について、子どもの保健にかかわる実態・健康課題、成長・発達の観察・計測【実習】・評価【演習】を例示、解説する。 (準備学習) ・子どもの成長・発達・発育について、それぞれの意味、相違を調べる。</p> <p>第3回：子どもの健康観察と健康管理では、保育における健康状態の把握のポイント、健康診査の計画、記録と評価について、母子保健・小児保健、子育て支援施策に照らして例示、解説する。 バイタルサイン測定の実施、評価【実習】 (準備学習) ・健康観察に関係するバイタルサインとは何か、その内容を調べる。</p> <p>第4回：子どもの養護と教育では、手洗い・沐浴・入浴、スキンケア、歯磨きについて、乳幼児の生活と成長発達に応じた育児技術：移動【実習】、食事、排泄【実習】、睡眠【実習】衣服脱着【実習】、身体清潔【実習】等を解説し、基本的育児技術の実習を実施。 (準備学習) ・乳幼児の健康な生活に留意した一日の生活を考える。</p> <p>第5～6回：子どもの体調不良などへの対応では、疾病の特徴と観察ポイントについて、体調不良の観察・把握、症状（発熱・嘔吐等）への対応（温・冷罨法）【演習・実習】を例示解説。 感染症の予防と対策、予防接種・生活習慣との関連と対応、感染症の集団における予防、感染症発生時と罹患後の対応、保育環境の整備を例示、解説、【演習】 (準備学習)</p>						

	<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種の意義を踏まえ、健康教育実施案と指導案を作成【演習】。 (準備学習) ・発熱や下痢、嘔吐など体調不良時の対応を考える。 <p>第7～8回：子どもの事故では、子どもに多い事故と、子どもが事故に遭遇しやすい特徴、保育園で多くみられる事故とその対策、応急処置の方法について学ぶ。また、子どもの生命を守る危機管理、災害への備えについて解説し、その対応【演習】について考える。</p> <p>(準備学習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの事故に関心を持ち、保育士として事故を予防するための方法を考えておく。 ・保育現場ではどのような方策が立てられていたか、実習体験から考えてまとめる。 <p>第9～10回：保育における応急手当ては、保育所における子どもの事故を踏まえ、対処方法・救急処置について解説する。救急処置と救急蘇生法では、骨折等の応急手当【演習】、誤飲・熱中症等の応急処置【演習】、傷病時止血・運搬・心肺蘇生法（AED）の実際【実習】を解説する。</p> <p>(準備学習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「教育・保育施設等における事故報告集計」により多い事故について調べる。 <p>第11～12回：保育における保健的対応では、基本的な考え方、保育所保育指針に上げられる3歳未満時への対応、特別な配慮を要する子どもへの対応について【演習】考える。</p> <p>(準備学習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期で学習した「子どもの保健」を踏まえ、保育所保育指針を熟読し、配慮を要する子どもへの対応について考え、授業に臨むこと。 <p>第13回：望ましい保育環境と安全対策では、発達援助と保健活動について、乳幼児の生理・発達に応じた健康な生活を踏まえ、衛生環境、屋外保育の環境、安全管理、防災への対策と危機管理【演習】の意義を解説する。また事故防止及び健康安全対策への週間・月間・短期・長期計画について保健情報の管理、保護者への健康教育について解説。</p> <p>(準備学習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども観・保育観・健康観を踏まえ、子どもの保健活動計画を考える。 <p>第14回：健康及び安全管理の実施体制では、職員間の連携と協働、保健活動の計画と評価、保育所が福祉施設であることを踏まえ、自治体との連携の必要性、家庭、専門機関、地域との連携について【演習】を考える。</p> <p>(準備学習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所保育指針の第4章子育て支援に照らし、保育所の地域における役割についてまとめる。 <p>第15回：まとめ 子どもの心とからだの健康問題と地域保健活動では、地域社会と精神保健・福祉、養育・養護、母子保健サービス、地域保健活動を統一的に解説し、まとめとする。</p> <p>(準備学習) 子育て支援の視点から、地域母子保健活動をまとめる。</p> <p>定期試験</p>
授業外学修時間の確保について	<p>(事前・事後学習として週4時間以上行うこと。)</p> <p>講義内容について、シラバスの到達目標に記載されているように自分の言葉で他者に説明できるように努めること。</p>
学生に対する評価	<p>定期試験（60％）、提出物、準備学習（40％）で総合評価する。</p> <p>なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コメントを記載して返却する。 ・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。 ・答案例を配布する。
テキスト	<p>テキスト：小林美由紀編著 授業、現場で役立つ！子どもの健康と安全 演習ノート 改訂第2版</p>
参考書・参考資料	<p>参考書：適宜紹介・配付</p> <p>参考資料等：「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」厚生労働省 「保育所における感染症対策ガイドライン」厚生労働省 「教育・保育施設における事故防止および事故発生時の対応のためのガイドライン」</p>

担当者からの メッセージ	授業中に示される参考文献等で事前学習を行い、基礎となる知識・情報を調べておくこと。
オフィスアワー	授業の前後の時間（メール等でアポイントを取ること。）
備 考	